

ギニア

主要データ

国名〔英名〕	ギニア共和国 [Republic of Guinea]
面積 (km ²)	245,857
海岸線延長 (km)	320
人口 (百万人)	11.5
人口密度 (人/km ²)	46.7
GDP (十億 US\$)	7.16
一人当り GDP (US\$)	612.14
主要鉱産物：鉱石	ボーキサイト、金
主要鉱産物：地金	アルミナ
鉱業管轄官庁	鉱山産業エネルギー省 (Ministry of Mines, Industry and Energy)
鉱業関連政府機関	鉱業開発投資促進センター (Centre de Promotion et de Developpment Miner (CPDM))
鉱業法	Mining Code (2011 年制定、2013 年改正)
ロイヤルティ	ベースメタル鉱石：7%、精鉱：3.5% ボーキサイト：10%、アルミナ：5%
外資法	-
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	-
鉱業公社	Campagnie des Bauxitee de Guinee (CBG)
鉱業活動中の民間企業	UC Rusal、Rio Tinto、Chinalco 等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	エボラ出血熱の最初の症例が同国で 2014 年 3 月に確認され、西アフリカ諸国に急速に感染が拡大、鉱業活動にも影響を及ぼすも現在は収束。
2014 年のトピックス	・ BSG Resources 社及び VAIE 保有の Simandou 鉄鉱石プロジェクトの鉱業権を BSG Resources 社の不法行為を理由に剥奪 (2014 年 4 月)、訴訟問題に発展。

1. 鉱業一般概況

ギニアにおいて鉱業は GDP の 15%、国家歳入の 20~25%、輸出収入の 80% を占める重要セクターである。同国は世界最大級のボーキサイト埋蔵量 (74 億 t) を誇る世界第 5 位のボーキサイト生産国で、他に金、ダイヤモンドを生産している。また、ボーキサイトに並んで世界最大級の鉄鉱石鉱床とされる Simandou プロジェクトが開発に向けて注目を集めているほか、ウラン、石灰石、ニッケル、チタン、黒鉛、コバルト、鉛及び亜鉛の鉱徴が確認されている。

一方、世界銀行による Doing Business Survey 2014 の投資環境ランキングでは、同国は 189 か国中 175 位と非常に低い位置にあり、これまで軍事クーデターによる暫定政権発足など政治リスクへの懸念等により鉱業投資は遅れていた。最近の動きとして、2013 年 4 月に投資促進のため鉱業法が改正され、また同年 9 月には国民議会選挙が実施され民主化プロセスが終了する等、投資環境については改善の兆しが見られている。

同国の南西に位置する Simandou 鉄鉱石プロジェクトについては、暫定軍事政権下に Block1&2 の鉱業権を BSG Resources 社が取得し、2010 年 5 月には VALE が 25 億 US\$ で権益 51% を BSG Resources 社

から取得し参入していたが、2014年4月、アルファ・コンデ大統領はBSG Resources社による鉱業権取得に際し前政権への賄賂といった不法行為が確認されたとして当該鉱業権を剥奪した。なおBlock1&2の南部に位置するBlock3&4については、2018年の生産開始を目途に開発が進められており、2014年5月、同プロジェクトを保有するRio Tinto(権益50.35%)、Chinalco(44.65%)及びIFC(5%)と同国政府との間で投資包括協定が締結された。同プロジェクトには約700kmに及ぶ鉄道敷設、港湾設備建設を含む200億US\$以上の投資が必要とされている。

2. 鉱業政策の主な動き

同国は2008年12月、ランサナ・コンテ大統領(当時)の病死を機に軍事クーデターが発生し暫定軍事政権が発足、その後2010年1月にコンパオレ・ブルキナファソ大統領の調停のもとで暫定国家統一政府が樹立され、同年に実施した大統領選挙によりアルファ・コンデ大統領が就任した。アフリカ連合(AU)は民主化プロセスの進展を評価し、2008年の軍事クーデター以降AU参加資格を停止していたがこれを解除した。2013年9月には、当初予定されていた2011年11月から約2年遅れて国民議会選挙が実施され、アルファ・コンデ大統領のRPG党が最多議席を獲得、これにより民主化プロセス移行期間が終了した。

鉱業法に関しては、国家暫定評議会が2013年4月に改正案を承認した。新鉱業法では、鉱業利益税(mining profit tax)を35%から30%に引き下げるとともに、鉱業権取得に際しては1案件あたり最低投資額をボーキサイト、鉄鉱石及び放射性物質を除き10億US\$から5億US\$に引き下げた(ボーキサイト、鉄鉱石及び放射性物質については10億US\$)。一方で、鉱業プロジェクトにおける権益の15%をギニア政府に無償譲渡する条項は新鉱業法でも規定されており、さらに20%を企業との合意の下ギニア政府が買い取ることを可能にする条項が追加された。ただし、アルミニウムについては、鉱物資源の高付加価値化の促進のため、ボーキサイトからアルミナに製練された場合には同持ち分は7.5%に引き下げ、アルミ地金が生産された場合には2%にまで引き下げられるとしている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2012年(千t)	2013年(千t)	2014年(千t)	対前年増減比(%)	世界シェア(%)	ランク
ボーキサイト	19,974.4	18,763.0	17,602.2	-6.2	6.8	5

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2015)

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出量

僅少

(5) 主要金属輸入量

僅少

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量	備考
Boke(Sangaredi) 鉱山	ギニア政府(49), Rio Tinto(22.95) Alcoa(13.77), Alumina Ltd(9.18)	ボーキサイト (千 t)	1,400	生産能力
Sangaredi 鉱山	Guinea Alumina Corporation (100) (Emirates Global Aluminiumの子会社)	ボーキサイト		Kamsar 港ターミナルを建設予定
Friguia (Fria) 鉱山	United Company Rusal(100)	ボーキサイト (千 t)	2,100	生産能力
Debele (Kindia) 鉱山	United Company Rusal(100)	ボーキサイト (千 t)	3,300	生産能力

(各社 HP)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

	権益所有企業(権益：%)	鉱種・形態	生産能力	備考
Kimbo(Friguia) アルミナ製錬所	United Company Rusal(100)	アルミナ (千 t)	650	国内唯一のアルミナ工場
Sangaredi アルミナ製錬所	DM GAV Limited	アルミナ		建設中

(各社 HP)

5. 探鉱状況

表 5-1. 主要探鉱プロジェクト一覧

プロジェクト名	鉱種	権益所有企業(権益：%)
Simandou Block 1 & 2	鉄鉱石	政府は BSG Resources Ltd の鉱業権を剥奪、入札準備中
Zogota	鉄鉱石	政府は BSG Resources Ltd の鉱業権を剥奪、入札準備中
Simandou Block 3 & 4	鉄鉱石	Rio Tinto plc (50.35), Chinalco(44.65), IFC (5) (ギニア政府がオプション権を保持)
Kalia	鉄鉱石	Bellzone Mining plc (100) 中国国際基金有限公司(CIF)が港湾・鉄道整備を支援し、5割の鉱石引取権を保有)
Mount Nimba	鉄鉱石	ArcelorMittal(56.5), Newmont Mining(43.5)
Nimba	鉄鉱石	Sable Mining Africa Ltd 2014年3月 PreF/S 終了
Koumbia	ボーキサイト	Alliance Mining Commodities(90) 2016年生産開始予定
Santou Houda	ボーキサイト	Government of Guinea(100)
Boffa Nord	ボーキサイト	Government of Guinea(100)
Boffa Sud	ボーキサイト	Government of Guinea(100)
Lebe	ボーキサイト	Alufer Miing(100)
Bel Air	ボーキサイト	Alufer Miing(100)
Kindia	ボーキサイト	Alfur Mining(100)
Koumbia	ボーキサイト	Alliance Mining Commodities(90)
Toubal	ボーキサイト	Anglo-African Minerals plc (62)、非公表企業 (38)
FAR	ボーキサイト	Anglo-African Minerals plc(100)
Dian Dian	ボーキサイト	Alumina Company of Guinea
Kissidougou(Firawaa)	ウラン、ランタン	Forte Energy NL (100)
Balatindi	ウラン、金、銅	Burey Gold Ltd

(各社 HP)

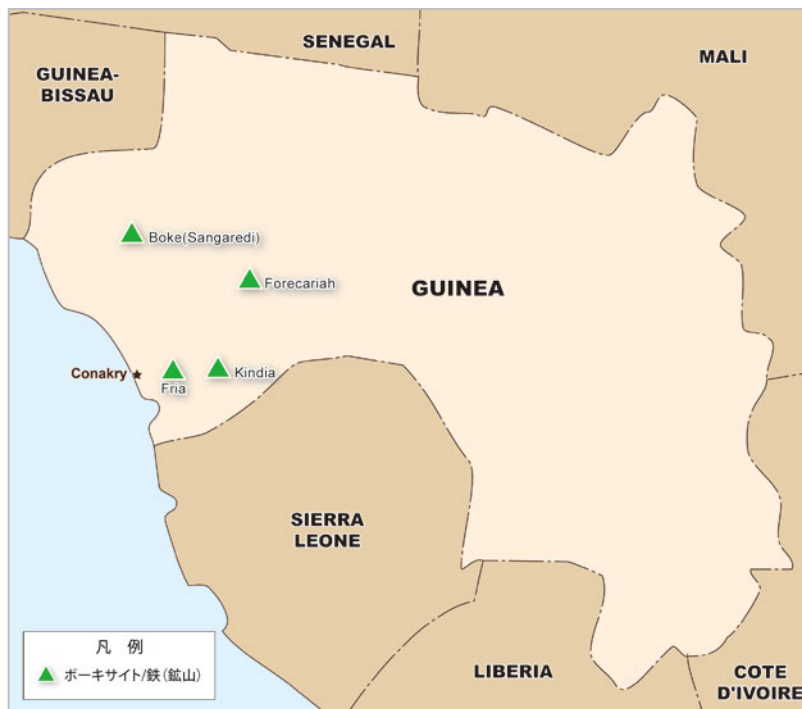


図 5-1. 主要鉱山位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

実績なし

(2) 日本企業による投資状況等

なし

7. その他トピックス

- ・ 2015年6月のメディア報道によれば、ギニアのボーキサイト鉱山会社の Compagnie des Bauxites de Guinee (CBG) は、10億 US\$を投じて2018年までに年産2,350万tへ増産するための拡張工事を行う。CBGは、ギニア政府とアルミニウム生産大手の Alcoa、Rio Tinto 及び Dadco Investments 社の3社による Halco Mining コンソーシアムとのJV企業で、Halco Mining コンソーシアムが同社の51%を保有している。CBGは、アブダビ首長国が保有する投資ファンドの Mubadala 社及び Dubai Aluminium 社との間でボーキサイト1,000万tの長期オフテイク契約を2013年に交わしており、本契約によれば2017年から500万tの供給を開始する見通し。またCBGは本件以外にも他社とオフテイク契約を交わしており、この需要を満たすべく増産のための投資を行う必要があるとしている。
- ・ 2015年5月の報道によれば、ギニア政府への支援としてBSG Resources社の調査を行っていた英国の最高裁は、ギニア Simandou Block 1 & 2 鉄鉱石プロジェクト案件に関する汚職、収用及び企業スパイの疑義により、BSG Resources社に対して、同案件に係る数千ページにも及ぶ書類を英国の独立政府機関である重大不正捜査局 Serio US Fraud Office に提出し、調査を受けるように命令を出した。なお、BSG Resources社は、2014年4月にギニア政府から同案件の鉱業権を剥奪され、補償を求めてギニア政府を相手取り、世界銀行グループ傘下の国際投資紛争解決センター (International Centre for Settlement of Investment Disputes, ICSID) に仲裁を申し出ており現在調査がなされている。

- ・ 2015年11月のメディア報道によれば、米国連邦地方裁判所は2015年11月20日にRio TintoによるVale及びBSG Resources社へのSimandou鉄鉱石プロジェクトの鉱業権を巡る提訴を却下した。米国連邦地方裁判官によれば、米国の集団暴力腐敗組織法等では、4年以内に提訴することが求められているものの、Rio Tintoは2014年4月に提訴したが、鉱業権を喪失したのは2008年12月であった。Rio Tintoは2008年以降、Simandou鉄鉱石プロジェクトに数億US\$を投じていたが、Lansana Conte前大統領政権下において、同プロジェクトの北半分にあたるブロック1及び2の鉱業権が取り消され、BSG Resources社がこれを取得していた。その後2010年にはValeがBSG Resources社から権益51%を取得し、両社のJV事業として開発が進められていた。なお、当時のMahmoud Thiam鉱業大臣は当時この見返りとしてBSG Resources社から2億US\$を受け取ったと見られている。

(2015. 11. 21 ロンドン事務所 竹下聡美)